



2026年6月10日

各 位

会 社 名 アストマックス株式会社
代表者名 代表取締役社長 牛嶋 英揚
(東証スタンダード・コード 7162)
問合せ先 執行役員 西潟 しのぶ
電話 03-5447-8400

FIT太陽光発電所のFIP移行および併設蓄電池導入に関するお知らせ

当社が匿名組合出資しております、くまもとんソーラプロジェクト株式会社(以下、「本SPC」といいます。)は、運営するくまもとんソーラー発電所(以下、「本発電所」といいます。)について、FIT制度からFIPⁱⁱ制度への移行および蓄電池の併設を行うことを決定いたしましたのでお知らせいたします。

当社は、金融及び市場取引分野において創業以来培ってきたノウハウを活用し、再生可能エネルギー、電力取引、電力小売等の総合エネルギー事業をコアとした事業展開をしております。

本発電所は、近年の九州エリアにおける出力抑制の増加により、実質的な収益性が低下していることに加え、2026年度以降の優先給電ルール見直しにより、FIT電源はFIP電源と比較して出力抑制の影響を受けやすくなることを見込まれております。

このような事業環境を踏まえ、出力抑制リスクの低減および売電機会の最適化による事業採算性の向上を目的として、本発電所をFIT制度からFIP制度へ移行の上、蓄電池を併設することといたしました。

FIP制度では、卸電力市場での売電収入に加え、市場価格との差を調整する形で追加収入(プレミアム)が付与されるため、市場連動型の収益機会が確保されます。さらに蓄電池を併設することで、電力価格の低い時間帯に充電し、高い時間帯に放電する運用が可能となり、出力抑制の影響を受けた現行のFITでの収益と比較して、FIP制度および蓄電池併設により収益性の向上が見込まれます。

また、出力抑制が発生した場合においても、プレミアムが他の時間帯に配分される仕組みにより、おおむね安定した収益を得ることが可能です。加えて、当社は電力小売、アグリゲーションビジネスⁱⁱⁱを展開しており、本件においてもFIP及び蓄電池運用を通じて事業価値の最大化を図ってまいります。

蓄電池設置工事につきましては、テス・エンジニアリング株式会社^{iv}に発注いたします。

なお、本件に係る設備投資資金については、本発電所に対して既に組成されているプロジェクトファイナンスの枠組みを活用し、株式会社高知銀行よりプロジェクトファイナンスの追加融資を受ける予定です。本追加融資により、発電所の収益性向上と長期安定運営を図ってまいります。

本事業を通じて、再生可能エネルギーの導入加速と電力システムの安定化に貢献するとともに、カーボンニュートラルの実現、GX(グリーントランスフォーメーション)の推進、持続可能な社会の実現に取り組んでまいります。

記

① 本発電所の概要

名称 : くまもとんソーラー発電所
所在地 : 熊本県菊池市
運転開始日 : 2016年7月
規模 : 8.1MW

② 蓄電池の概要

定格出力 : 1,998kW
定格容量 : 12,900kWh(215kWh×60台)

③ 工事発注先

テス・エンジニアリング株式会社(本社:大阪市淀川区、代表取締役社長:高崎敏宏)

④ スケジュール(予定)

2026年7月 :蓄電池設置工事開始

2027年3月 :蓄電池設置完了

2027年6月 :FIP運転開始



くまもとんソーラー発電所(所在地:熊本県菊池市)

<本件に関するお問い合わせ>

アストマックス株式会社

<https://www.astmax.co.jp/contact/> (お問い合わせフォーム)

ⁱ FIT:「再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法」に基づき、太陽光、風力、バイオマス等の再生可能エネルギーで発電した電力を、電気事業者が一定価格で一定期間買い取ることを国が約束する制度。

ⁱⁱ FIP:再生可能エネルギー発電事業者が発電した電気を卸電力取引市場や相対取引で売電をした場合に、基準価格(FIP 価格)と市場価格の差額をプレミアム額として交付する制度。

ⁱⁱⁱ アグリゲーションビジネス:太陽光発電や蓄電池等の分散電源を IoT 等で統合制御し、一体的に運用することで、需給バランスの調整や供給力・調整力として市場に供出し、収益を得る事業。